



佐藤 博 議員

選挙公約の重要性を どう認識しているか

【質】 佐藤博議員

市長の政治姿勢について

(1) 4年前、当時の川瀬町長は「かわせ輝夫の七つのお約束」という選挙公約を発表して当選されました。

選挙公約は、有権者との約束事であり守らなければなりません。選挙公約の重要性について、どのように認識していますか。

(2) 11月上旬に行われた市政代表者懇談会について、「教育基本法改正をめぐるタウンミーティングのやらせと同様ではないか」「何のために開催されたのか」と批判の声を耳にします。内容についても、市民の率直な意見や要望が反映されたものであるかどうか疑問を感じます。

弥富市総合計画の策定に当たり、この懇談会と9月

に行われた「まちづくりアンケート調査」だけで、市民の意向や要望が集約されたとするならば、疑問と問題が残ると思えますが、どのように考えていますか。

(3) 海部地区環境事務組合の損害賠償返還請求について新聞等で報道されていますが、市議会には何の報告も説明もありません。

これまでの経過はどのようになっているのか、相手側が返還請求に応じない場合は訴訟事件になる可能性があるのか、今後の見通しをお伺いします。

公約実現に向け最大限の努力をした

【答】 川瀬市長

(1) 公約は、行政運営に対

する考え方、目指す方向を住民に知っていただくためのもので、私はその計画の実現に向けて最大限の努力を傾けてきました。

(2) 市政代表者懇談会は、総合計画の策定に当たって、「美しい水と緑 みんなでつくる 交流拠点都市」の実現に向けた施策に反映させることを目的に開催し、生活基盤の整備など身近な問題について、各界の代表者から自由な意見を率直に述べていただきました。

アンケート調査は、総合計画の策定に伴い、市民が考える「住みよいまち・住みたいまち」を調査するため、無作為に20歳以上の市民2500人を対象に行い、市に対する現状評価や施策要望等を把握することで、今後の施策検討の基礎資料とするものです。

(3) 海部地区環境事務組合の損害賠償返還請求の経過については、私が組合管理者に就任する前のことですので、今後、組合の正副管

理者である構成市町村長で十分協議を重ね、組合議会にもお諮りして対応していきます。

教育基本法改正後の使命・職責は

【質】 佐藤博議員

今回の教育基本法の改正案が可決された場合、地方教育委員会の使命・職責はどのように変化するのかお聞きします。

課題解決のために教育行政を推進

【答】 池田教育長

今後の地方教育委員会の在り方については、これまで教育委員会が果たしてきた役割と成果を踏まえ、学校・家庭・地域とより密接に連携し、現在の教育が抱える課題を解決するために、教育行政を推進していきたく考えています。